

Title	二重経済における経済政策の理論分析
Author(s)	齊藤, 宗之
Citation	大阪大学, 2009, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/49346
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 〈a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"〉 大阪大学の博士論文について 〈/a〉 をご参照ください。

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

【17】

氏 名	齊 藤 宗 之
博士の専攻分野の名称	博 士（経済学）
学 位 記 番 号	第 2 2 6 6 0 号
学 位 授 与 年 月 日	平成 21 年 3 月 24 日
学 位 授 与 の 要 件	学位規則第 4 条第 1 項該当 経済学研究科経済理論専攻
学 位 論 文 名	二重経済における経済政策の理論分析
論 文 審 査 委 員	(主査) 教 授 阿部 顕三 (副査) 教 授 二神 孝一 准教授 山本 和博

論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、二重経済におけるさまざまな経済政策の理論分析を行うものである。特に本論文で

は、発展途上国の都市と農村という二重経済のもとで、都市の失業を導入したハリス＝トダロ・モデル(以下、H-Tモデル)を拡張・発展させることを目的としている。

拡張・発展の方向性としては、大きく分けて以下の二つの問題を扱っている。まず、第一に、H-Tモデルでは外生的に与えられている都市部門の高賃金を内生化することを試みる。そのもとで、さまざまな経済政策が経済厚生や失業に与える効果や、最適な政策を分析している。第二の課題として、環境問題を導入したH-Tモデルを構築し、技術移転・環境政策が経済厚生に与える効果を分析している。第2章では、これらの課題と関連したH-Tモデルによる分析のサーベイを行い、分析の方向性を解説している。

第一の課題は、第3章、第4章、第5章で扱われている。第3章「効率賃金仮説下における賃金補助金政策と貿易政策」においては、効率賃金仮説によって都市部門の高賃金を説明するモデルを構築し、賃金補助金政策と貿易政策が標準的なH-Tモデルの結果とどのように異なるかを分析している。主要な結論は、農村部門への賃金補助金政策の導入は必ずしも経済厚生を改善するとは限らないというものである。第4章「二重経済下における国際労働移動」においては、都市部門の高賃金を効率賃金仮説によって内生化し、都市にいる労働者だけが海外へ移住する可能性に直面している状況を考える。こうした設定のもとで、移住者数の上昇は一人当たり国民所得を上昇させる可能性があることを示している。さらに、第5章「労働組合と最適失業給付」においては、労働組合と企業の交渉によって都市部門の高賃金を説明したモデルを用いて、部門間での賃金格差がなくなるという意味での最適失業給付水準が存在することを示している。

第二の課題に関しては、第6章と第7章において考察が行われている。第6章「排出削減技術のトランスファーと都市失業」においては、都市部門の生産からのみ汚染が排出され、労働移動が都市と農村の期待効用の差に応じて生じると考え、汚染排出削減技術の移転が失業水準、総排出量、社会厚生に与える影響を考察している。得られた主要な結論は、汚染排出削減技術の移転は失業率を悪化させるが、経済厚生に対する影響はないというものである。第7章「二重経済下の環境政策」においては、都市部門の生産活動から汚染が排出され、資本が特殊要素となるH-Tモデルを用いて、農村地域への汚染のスピルオーバーの拡大や排出税の引き上げが、失業率や総排出量、経済厚生に与える影響を分析した。排出税の引き上げは総排出量を増大させる可能性があること、また、排出税率引き上げが総排出量を低下させ、失業率を悪化させる場合、最適な排出税はピグー税より低いことなどを明らかにした。

論文審査の結果の要旨

本論文は、二重経済のもとで都市の失業を導入したハリス＝トダロ・モデルの拡張を行い、二重経済における経済政策の効果について緻密な理論的分析を行っている。第1に、伝統的なハリス＝トダロ・モデルでは外生的に与えられていた都市の高賃金を、効率賃金仮説や労働組合による賃金決定によって内生化し、そのもとで賃金補助金政策や貿易政策などの効果を分析している。第2に、環境のファクターをハリス＝トダロ・モデルに導入し、環境政策や技術移転の効果を理論的に分析している。本論文で用いられているフレームワークは伝統的なハリス＝トダロ・モデルを有意義な方向に拡張したものであり、従来とは異なる政策的含意を導いている。以上から、博士(経済学)に十分に値すると判断する。